

Smile Woman!

インタビュー④

この人の仕事のかたち  
どこか懐いてみえる「仕事」をしているあの人にズームアップ

Emi Tomita

# 食を通じて 仏教の世界観を伝える

慈恩精舎  
接客チーフ

富田 恵美さん

www.tenkon.co.jp

JR東岡山駅から南方向へ、百間川のほとりのほど近くにある日本料理店、慈恩精舎。店先に安置されたお地藏さまが象徴するように、同店では食を通じて仏教の教えを伝えるという、とてもユニークなコンセプトを掲げ、その独特の世界観に魅了された遠方から度々訪れる常連客も多い。富田恵美さんは、慈恩精舎の接客担当チーフとして、店頭に立って毎日活躍している。

## ④世界で唯の仏教茶屋

仏教茶屋というお店が生まれた経緯をうかがうと、「もともと父は料理人でしたが、ある時母が「出家する」と言って尼僧になられたことがきっかけです」。また「現代では般の人は葬式等でしか仏教に接する機会はありませんが、もともと身近に触れられる場所という想いがお店の出発点になっています」と話す。実際同店では、仏教と関係の深い「運の花」にちなんだれんこん料理が看板メニューに。また店内には数々の仏画が飾られ、さらに窓外に目をやると、玉砂利を敷き詰められた趣き深い庭もあり、仏教や和の世界を舌と目で味わえる。富田さんに店の展望を尋ねたところ、「仏教茶屋という考え方は当店のオリジナルですし、夢は大きく世界オンラインをを目指しています!」と笑顔で語る。

## ③一期会の接客

店内では、接客担当のチーフとして活躍する彼女。接客のモットーをたずねると、「お客さまに心を通

わせて、お客さまの求める応対を心がけています」とサリリと答える。まさに仏教の精神世界にも通じる、一期会の接客が実践されているといえるだろう。また、「お客さまとのコミュニケーションが何より楽しくて、店に立つと元気が出ますね」と話すその表情には、人とのふれあいを心から楽しむ人柄がにじみでる。

## ⑤世代を越えて親しめる店へ

プライベートでは3歳児と1歳児の母親でもある富田さん。最近では、「主人とともにお学生時代の趣味だったヒップホップのサークルを主宰し、オウガイムはダンスに熱中する。「子どもが小さくて習いに行きにくいので、それならと自分達でサークルを立ち上げました」と笑う。また昨年からはお店でも「慈恵子ども会」を結成、餅つきや七夕、地藏盆など親子で楽しめるイベントを開催し、オン・オフともますますアクティブに楽しんでいる。一般に料理店などでは子ども連れは敬遠されがらだが、同店は敷居が低く世代を越えて楽しむことができる。気軽に足を運べるお店として、これから多くのお客さまに愛され続けるだろう。

